

授業デザインシート

3年全	教科	社会	授業者	山川 正樹	本時	7/9
単元・教材名	「たった四はいで夜も眠れず」				場所	2年2組
指導目標	アメリカの開国要求に対し、幕府はどのように対応するのがよいのだろうか。					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
①基礎・基本の確認 ②声出し・先読み ③学び合いの学習 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
	主な学習活動		場 時間	共通 実践	指導上の留意点・【形成的評価】	
導入	1 既習事項の確認(フラッシュカード) ・ペリーの写真から知っていることを発表		一斉 5分	① ②	1 声出しによる雰囲気づくり、既習事項の確認 (本時の発問に対する下地を整えるねらい)	
	2 本時のめあての確認 「ペリーの開国要求に対し、幕府はどのように対応するのがよいのだろうか」		1分			
展開	3 ペリーについて基本的な事項のまとめ ・ペリーが民衆に与えた衝撃について確認。 資料「ペリー肖像画」、「黒船と千石船」、「狂歌」、 「オランダ国王の手紙」		一斉8分	① ②	3 視聴覚教材で解答を提示しながら全体で確認。 (小学校で学習した内容であることを強調) ・関連する資料の提示、補足説明により大きな衝撃 を与えたことを補足。	
	4 アメリカが日本に開国を求めた目的を、 「大統領の国書」から確認 →ラインを引き、互いに交流しながらワーク シートに記入→一斉で確認		個人3分 交流3分 一斉2分	① ③ ②	4 「大統領の国書」の主旨と思う部分にチェック →交流で互いに確認。【●】 ※目的だけでなくその背景にも気付かせる。 (目的は救助・補給・貿易)の3点、背景に捕鯨・中 国貿易のために寄港地が必要な点)	
	5 ペリー帰国後の国内の反応について確認		一斉2分 交流3分	③	5 グラフから54人の大名の過半数が開国に反対 (→54人中34人)であることを確認。	
	6 発問に対して考え、自分の考えを記入 発問「もし幕府の役人だったらアメリカの要求に 対し、どう回答するか？理由も書け」 {受け入れる・受け入れない・一部受け入れる} ・選んだ回答→黒板にネームを貼付 ・主に同じ意見同士で交流(意見発表) ・異なる意見同士で交流() <予想される理由>		個人5分 ↓ 交流5分 交流5分	④ ③ ③	6 理由が十分書けない者は交流で共感できた意見 を自分の考えとして理由を記入 ・既習内容をまとめた資料にもとづき、理由をあげた 根拠についても説明できるように指導する。 【●】	
		受け入れる	受け入れない	一部受け入れる		
		外国の進んだ技術や知識を導入できる/外国から 様々な品物を輸入できる/貿易の利益が期待でき る/開国しないとアメリカとの戦争になる、または支 配を受ける恐れがあるから	貿易したら安い海外製品の輸入で日本の産業が 衰える/不平等条約を結ばされる/キリスト教が広 まり、武士の支配が崩れる/伝染病の流行する/ アメリカの言いなりになりたくない/鎖国のおかげ で平和を保ってきた	補給・救助はいいが、貿易はしない(国内産業が 衰えるから)/補給・救助・貿易はするが、今まで 通り長崎のみで行う(急激な開国でさまざまな問題 が発生するをおさえるため)		
終末	・交流後、最終的な自分の考えを記入 (=本時のまとめ) ・電子黒板に回答・理由を提示し発表		個人2分 一斉3分	④	・よくまとめられている生徒の回答を、電子黒板に提 示、生徒自身に発表 ・当時の幕府の家臣や大名もいろいろな意見を出し つつ、幕府は「開国を選んだ」ことを補足	
	7 関連する入試問題の演習(2問)		個人2分	⑤	7 答え合わせは生徒の発表。【●】 (時間が不足しそうな場合は次回)	
	8 次回の予告		1分		8 次回は、幕府がどういった形で開国をするのか、 開国の影響でどのような事件が起こるのかについて 簡単に予告をし終了	